

ミャンマー 官民ミッション

2016年12月



MEJセミナー フォトセッションの様子

一昨年度、昨年度に続き、3回目となるミャンマー官民ミッションは、「救急医療システム」「NCDs、がんの早期診断システムについて」および「メディカル・エンジニアの必要性」をテーマに、セミナーおよび日本企業による展示、ラウンドテーブルで企業紹介を実施し、今後のビジネス創出につなげる継続的な関係構築を図った。

日程：2016年12月7日(水)～9日(金)

都市：ミャンマー・ヤンゴン

参加企業(ABC順)：

富士フイルム、グリーンホスピタルサプライ、日立製作所、三菱商事、日本光電工業、オリンパス、パナソニックヘルスケア、サクラファインテックジャパン、サクラ精機、シスメックス、テルモ、リベルタスコンサルティング(12社)

JICA/JETRO意見交換会

初日のセッションとして、JICA/JETRO意見交換会を行った。JICAからミャンマーの医療制度およびODAの状況、JETROからミャンマーの経済状況及び日本企業の進出動向についてブリーフィング頂き、現地事情の理解を深めた。

私立病院協会ラウンドテーブル

2日目の最初のセッションとして、106の病院が加盟する私立病院協会理事とラウンドテーブルを行った。各参加企業が自社のプレゼンテーションを行い、日本の医療・医療機器をアピールした。先方より、日本製医療機器への高い信頼、評価が示され、会員病院にも推薦したいとの言があった。一方、日本製の医療機器は総じて高額であるため、分割払い等の金融面でのサポートが必要であるとの認識を確認できた。



私立病院協会での集合写真

ASIA ROYAL病院視察

ミャンマー最大手の私立病院、ASIA ROYAL病院(総ベッド数314床)を視察した。病院運営に当たっての課題として医療人材の質の確保、医師のトレーニング実施の必要性、医療機器の充実、医療機器流通の改善が必要であるとの認識が示された。

2016年度ミャンマー官民ミッション開催 ～救急、NCDs・がんの早期診断、メディカル・エンジニア～

病院紹介を受けた後、病院見学を行い、救急部門、検査部門を見学し、ミャンマーの私立病院の状況を把握した。



ASIA ROYAL病院の外観

ヤンゴン総合病院視察

2日目午後のセッションとして、ヤンゴン総合病院(総ベッド数2000床、公立最大病院)を視察した。ヤンゴン総合病院より病院概要の説明を受けた後、日本側より参加企業紹介及び鍋木先生から日本の予防医療に関するプレゼンテーション、そしてMEJより、ヤンゴン総合病院への蘇生トレーニングコース(ICLS)の協力提案を行った。ラウンドテーブル後、病院見学を実施。多くの日本製医療機器が導入されていた一方、一部不具合等により使用されていないものも見受けられ、メディカル・エンジニアの必要性を強く感じられた。



ヤンゴン総合病院でのラウンドテーブルの様子

MEJセミナー

日程：2016年12月9日(金)

場所：PARK ROYAL YANGON

「救急医療」「日本のNCDs、がんの早期診断システム」「メディカル・エンジニアの必要性」をテーマにセミナーを行った。セミナーには、ほぼ満員となる約150名が参加した。ミャンマー側からは、Golden Zaneka Public of Kyaw Myint Naing会長が「メディカル・エンジニア学校設立に当たっての日本との協力」について、ヤンゴン第一医科大学Khine Shwe Wah先生が「ミャンマーにおける救急医療の将来」

について講演を行い、日本側からは、岡山大学木股先生が「メディカル・エンジニアの必要性」について、東京医科大学 織田先生が「救急医療システム」について、日本人間ドック協会国際委員 鍋木先生が「NCDs・がんの早期診断システム」について講演を行った。特にメディカル・エンジニアの必要性に関して活発な意見交換が行われ、日緬双方の取組についての理解を深めることができた。また、日本企業による展示ブースも設置し、日本企業の製品の認知度向上を図るとともに、ミャンマー医療界の有力者とのネットワークを構築した。来賓の保健スポーツ省Kyaw Zin That局長をはじめとするキーパーソンに個別に企業展示をご覧頂いたところ、日本製医療機器への関心が示された。



セミナーでの講演の様子

保健スポーツ省ラウンドテーブル

保健スポーツ省より、ミャンマーの医療における問題点、政府の方針について説明頂いた。保健局長から①国民への医療教育の浸透②予防医療施策の推進③公的医療サービスの創出が重点分野として挙げられ、保健予算も2014年度から続けて増額されているとの説明があった。日本の医療機器、技術への高い信頼が示され、より一層協力関係を強化していくことで一致。今後も引き続き協賛していくことで合意した。特に画像診断分野、遠隔診断、予防医療への関心が示された。



保健スポーツ省ラウンドテーブルの様子